

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市鹿野児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク
3	指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 20,215人 (前年度比 102.8%)          平成28年度 19,667人          平成27年度 19,457人          平成26年度 21,999人</p> <p>《事業》          児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">( )は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 26,833千円 ( 24,830千円)</li> <li>・ その他市が負担した費用 0千円 ( 0千円)</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 0千円 ( 0千円)</li> <li>・ その他収入 0千円 ( 0千円)</li> </ul>
6	利用者の声	<p>《実施状況》          利用者アンケート、鹿野児童館地区運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

### 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。	S
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境作りに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	S
V 施設固有の基準	小学生高学年の主体的な活動を支援し、子どもが企画・運営する行事を設けている。児童クラブ保護者組織による親子行事の開催を支援しているほか、毎月児童クラブ通信を発行し、児童の様子を定期的に伝えるなど、保護者との連携に努めている。 子育て支援クラブ、ボランティア等の育成・活動を支援し、民生委員児童委員等地域団体との連携・協力関係の構築に取り組んでいる。	S

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

### 四 評価総括

《指定管理者（ 特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク ）による自己評価》
<p>地域の方々と館の利用者をつなぐ「かけ橋」の役割を担いながら、誰もが気軽に来館し、「安心・安全」で居心地のよさを感じていただける身近な存在としての児童館を目指し、運営を行った。</p> <p>子育て支援事業は、子育て支援クラブとの共催事業や民生委員児童委員と共催のサロンなど、多くの協力を得ながら地域ぐるみの子育てを行い、児童館がその拠点として貢献することができた。</p> <p>乳幼児親子対象事業として手遊びや読み聞かせ、音楽遊びなどを行い、また、幼児親子対象事業としては幼児クラブで季節に合わせた遊びや工作を行うなど、誰もが気軽に参加できる行事を中心に、それぞれの月齢の発達、興味に合わせて計画・実施し、親子の居場所、触れ合いの場作りや友達作りの機会を設けているので、新規の参加者も増えており、多くの親子が参加してくれた。</p> <p>児童対象事業では、工作や運動をはじめ、科学遊びや伝統凧作りなど、普段、家庭ではできないことも体験し、達成感や自己肯定感を得ることができた。</p> <p>4～6年生を対象とした「たのしクラブ」の活動では、自由な発想の下、自分達で様々な事業を企画・運営し、自主性の発達を促すとともに、夏祭り等では、一つのコーナーを受け持ち年少の子ども達を楽しませるなど、年長者としての自覚・リーダーシップの向上など、色々な面で成長が見られた。</p> <p>中学生対象事業では、放課後の居場所提供事業が定着しており、児童クラブを卒業した中高生が遊びに来る姿も多く見られた。職場体験やボランティアなどの積極的な受け入れや中学校の吹奏楽部発表など、継続的な交流も続いている。</p> <p>児童クラブ事業では、家庭や保護者会、そして小学校とも連携をとり、利用者にと寄り添った運営を行った。</p> <p>児童館地域運営懇談会や利用者懇談会では、小学校の校長先生やPTA会長、町内会長、各関係機関、子育て中の親御さんなどから色々な意見をいただき、館運営に反映させた。</p> <p>今後も地域を支える重要な機関としての責務を果たすとともに、地域の居場所として皆に親しみを持ってもらえるよう、きめ細やかなサービスの提供を継続していきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>小学生を対象に、月2回定例行事を実施し、調理、工作、自然活動、伝承、集団遊び等多様な遊びや体験の場を提供しているほか、手芸や工作活動は、期間や時間を長く設定し、じっくり取り組めるようにするなど遊びを工夫している。また、遊びや生活の中で子どもが意見を述べ、考える機会を設けるなど子どもの主体的な活動を支援している。</p> <p>子ども達の「かくし芸大会」や季節や伝統行事などを通して、子どもを中心に地域の多様な人・世代と交流する機会を設け、顔の見えるつながりから地域の子育て環境の向上を図っており評価できる。</p> <p>民生委員児童委員と協力した乳幼児親子の交流サロンや、遊びの場、育児相談の場などを提供し、子育て家庭支援に取り組んでいる</p>	S

© 評価担当課（施設所管課） 子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室